

大分大学大学院工学研究科

博士前期課程工学専攻

2021年度から **新たな教育プログラム** を設置

◆設置の概要

博士前期課程 工学専攻 135人

機械エネルギー工学コース 29人

電気電子工学コース 29人

知能情報システム工学コース 26人

応用化学コース 22人

福祉環境工学建築学コース 18人

福祉環境工学メカトロニクスコース 11人

新 博士前期課程 工学専攻 135人

機械エネルギー工学コース 26人
工学専門教育プログラム

電気電子工学コース 26人
工学専門教育プログラム

知能情報システム工学コース 28人
工学専門教育プログラム
数理科学教育プログラム

応用化学コース 25人
工学専門教育プログラム
自然科学教育プログラム

福祉環境工学建築学コース 18人
工学専門教育プログラム

福祉環境工学メカトロニクスコース 12人
工学専門教育プログラム

3つの教育プログラムを設置

- ・既存分野 → 工学専門教育プログラム
- ・数理科学分野 → 数理科学教育プログラム
- ・自然科学分野 → 自然科学教育プログラム

質の高い特色ある教育と研究を通じた科学技術の創造と地域への貢献
豊かな創造性、社会性、及び人間性を備えた人材の育成

現在の科学技術は、世界的な規模で、高度化、複雑化、多様化が進むと同時に研究開発のスピードもその加速度を増しています。わが国でも、俯瞰力と独創力を備え、グローバルに活躍する科学技術人材の育成が急務となっています。これらの背景を踏まえ、本学の使命・責任を果たすためには、社会の要請に応じた質の高い分野横断的教育を実施する必要があります。その実現に向けて、工学研究科では平成28年度から、博士前期課程では1専攻6コース制、博士後期課程では1専攻2コース制による教育課程とし、専門性、俯瞰力、国際性、創造力、および新技術創出のための実践力を培ってきました。さらに、令和3年度からは、これまでの工学専門教育プログラムに加えて、博士前期課程の2コースの中にそれぞれ新たな教育プログラムを設置し、現代の輻輳した課題に対しその科学技術の根源からとらえ直し、包括的かつ革新的な解決策を創造できる技術者を養成するよう教育プログラムの強化を行うこととしています。

博士前期課程では、確かな専門性を身に着けるために、入学時に選択した教育プログラムに応じてコース分けを行います。一方で、各教育プログラムにおける専門科目群以外に、分野横断型・融合型科目群及び工学基礎科目群を設けており、多様化する産業界のニーズに柔軟に対応できる教育課程編成になっています。

博士後期課程においては、専門性を担保するために、学生は入学時に、ものづくりの革新を推進する物質生産工学コースあるいは情報と人間環境における技術革新を推進する環境工学コースのどちらかを選択します。先に述べた複合的視点やグローバルな展開能力を身に着けるために、俯瞰力養成セミナー、国際実践演習、プロジェクト演習、キャリアパス設計等の科目を設けるとともに、講義科目を1専攻5分野（応用化学分野、機械工学分野、電気電子工学分野、建築学分野、情報工学分野）に分類し、イノベーション創出のために必要となる全分野から履修できるようにしています。